

『Radeon RX 7900 GRE』はココがスゴイ!!



AMDの最新GPU「Radeon RX 7900 GRE」がついに国内発売された。画像生成AIの扱いやすさがポイントとなっており、ゲームもWQHD解像度かつ高画質で滑らかにプレイできるのだ。

- AMD
- 予想実売価格 10万円前後
- <https://www.amd.com/ja/products/graphics/amd-radeon-rx-7900-gre>

画像生成AIが使いやすい!

画像生成AIでテストしてみた

◀RX 7900 GREとLinux用ROCmを使って、Stable Diffusionで画像を生成したところ、画像1枚あたり13.5秒で生成できた。あくまで参考値だが、この結果なら試したくなるはずだ。

「Radeon RX 7900 GRE」は、ハイエンドGPU「RX 7900 XT」と「RX 7800 XT」の間に位置付けられるGPUで、「RDNA 3」アーキテクチャーをベースに、メモリーバス幅256ビット、ビデオメモリー16GBという構成を採用。AI処理向けアクセラレーターを160基搭載しており、『Stable Diffusion』など画像生成AIを利用しやすくなっている。Stable Diffusionの場合GPUのビデオメモリーが12GB以上必要とされており、この点でもRX 7900 GREが高いスペックを備えていることがわかる。GPUをAIなどで活用するための開発キット「ROCm」がRadeon RX 7900 GRE

「Cm」がRX 7900 GREに対応した点もメリットだ。WQHD解像度で高画質・高速動作AMDは、ゲームが快適に遊べる点というでも抜かりない。RX 7900 GREでは、WQHD(2560×1440ドット)解像度において、高画質かつ高いフレームレートでプレイできる。左のページにまとめたようにAMD独自の超解像技術や、ラグを減らし画面の応答性を高める技術を手軽に利用できるようにしているからだ。

「AMD Radeon RX 7900 GRE」スペック

アーキテクチャー	RDNA 3
製造プロセス	TSMC 5nm+6nm
CU数	80基
SP数	5120基
Ray Accelerator数	80基
AI Accelerator数	160基
ROP数	160基
テクスチャーユニット数	320基
ゲームクロック	1880MHz
ブーストクロック	2245MHz
メモリーデータレート	18Gbps
搭載メモリー	GDDR6 16GB
メモリーバス幅	256bit
Infinity Cache	64MB
PCI-Express	Gen4×16
TBP/Borad Power	260W
補助電源コネクタ	8ピン×2

『ROCm』とは?

ROCmは、AIや画像以外の汎用目的でGPUを利用するGPGPU向けのSDK(ソフトウェア開発キット)。オープンソースソフトウェアとして開発が進められており、WindowsやLinux上で利用できる。Linux用のバージョン6.0.2ではRX 7900 GREにも対応しており、よりリーズナブルに画像生成AIをはじめとしたAIのパワーを活用しやすくなったといえるだろう。